

# 寺 報



No. 2

発行 遍照山慈光寺  
(久慈市大川目町)

## お盆のころ



### 祖先の霊をお迎えして

### 家族そろって 祈りを捧げましょう



今年もまたお盆がやって来ました。好天が続いて、イネの  
成育も順調ですから、こころ穏やかなお盆が迎えられそう  
です。どちらさまも、楽しいお盆を過ごされますよう心から  
祈りします。

毎年お盆になると、子供の頃に戻った  
ような一種なつかしい気分にはたされま  
す。夏休み、盆踊り、花火大会と色々な  
ことが思い出されます。  
日本中の人々が、ふるさとへ回帰し、  
祖先の霊に祈りを捧げます。

日本でお盆の行事が始まったのは、七  
世紀(およそ一三〇〇年前)の初め頃と  
いわれております。  
昔も今も、深いご縁に結ばれた人との  
別離を悲しみ、亡き後もいます如くに  
亡き人を大切に思いやる心と共に、命の  
源流に想いを寄せる雰囲気、国中に満

ち満ちてくるのがお盆なのです。  
今回は、民族の長い歴史の中で培われ  
てきたお盆の行事について、「盆棚」の  
飾り方を中心に、大川目地方に伝わる習  
慣について述べてみたいと思います。

#### ◎盆棚

精霊棚ともいいますが、統一された形  
式はありません。その差異の中に、家の  
伝統や祈りの結晶が潜んでいることであ  
りましょう。

昔は、祖霊をお迎えする特別な祭壇と  
し、座敷に飾られました。

いまは、仏壇の前に飾る家庭も多くな  
っています。

盆棚は、十三日の朝に作りませんが、三  
日町地区のように十四日の朝に作る地区  
もあります。

棚に盆莫盛をしいて、正面にご先祖の  
お位牌を安置しますが、飾り付けやお供  
え物にも、特別なきまりはありません。  
お年寄から聞きながら、季節の花・野  
菜や果物などを供えるなど、心を込めて  
ととのえてさしあげましょう。

#### ◎新分皿

仏様になって、初めて迎えるお盆を、  
新盆(にいぼん)といいます。

新盆には、盆棚を特別に大きく作る家  
もあります。

仏様の親子兄弟や生前ご縁の深かった  
方々が、お参りして、ご冥福を祈つてあ  
げることが、礼になつたゆかしい習慣  
です。

## 寄進ご披露

・大型花鉢 十二基

十門地 由男(山口)

・エゾアジサイの苗 多数

小田 義治(森)

・ハナシヨウブの苗 多数

繁名 貞一(畑田)



#### ◎お墓参りと 迎え火・送り火

盆中のお墓参りは、十三日から十五日  
までの三日間行われます。十四日に盆  
棚を飾る地区では、十四日から十六日ま  
での三日間です。

各家庭では、十三日の夕方から夜にか  
けて、屋敷内の門口付近に、ご先祖をお  
迎えするための迎え火を焚きます。

また 新盆を迎える家では、縁者が集  
って、大燭台に四十八本のろうそくを灯  
す「四十八」の供養も行われます。

お盆の十三日にお迎えしたご先祖様は  
心のこもったおもてなしの後、十五日の  
夕方、送り火を焚いてお送りします。

人々がさまざまな想いを込めて過ごし  
たお盆のひとときは、この送り火とともに  
に終りを告げます。

(副住職 高谷 剋行)

## 檀家研修旅行

### 9月下旬、本山へ

### 併せて伊豆半島めぐり

恒例の檀家研修旅行を次の通り計画し  
ています。お盆明けに、改めてご案内し  
ます。ご期待ください。

・行き先 本山 遊行寺・伊豆半島周

遊

・時期 九月下旬(二泊三日)

・費用 お一人 六五〇〇円

・定員 二十名



# 位牌堂工事 いよいよ着工

## 11月末完成の予定



待望の位牌堂建設工事は、多くの檀家の方々の賛同をいただいで、いよいよ着工の運びとなりました。

施工業者は、新田組です。

去る七月九日、当寺住職ほか関係者が

出席して地鎮式を行い、事業の成満と工

事の安全を祈願しました。

お盆前には敷地造成と外構工事を終える予定です。

上棟式は、九月中旬を予定しています。が、仏式にのっとり盛大に行う予定です。



厳粛に行われた位牌堂の地鎮式

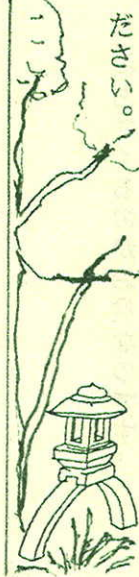
す。くわしくは、改めてお知らせしますので、檀家の皆さんから多数ご参加いただきたいと思っております。

七月末時点での位牌堂申込数は、総体

で五五〇世帯でした。

まだ、C、D 壇には余枠がありますので、ご希望の方は早目にお申し込んで

ださい。



### 夢よもう一度

「高校生たちのボランティア」

後輩のために役立ちたいと、ボランティア活動に励む高校生のグループがあります。その名は、「グリーンピース」。

大川目町内の高校生数人がメンバー。自分達が小学生の頃、慈光寺本堂下にある通称「丸太小屋」で活動した「みどりの子ども会」の楽しい思い出が忘れられないという高校生たちの集まりです。

あのような楽しい活動を、こんどは、自分たちのボランティアで、後輩たちに体験させてあげようではないか

——これが、「グリーンピース」結成の動機です。

この高校生たちは、小学生と中学生あわせて三十数名の子どもたちを集めて、月一回の集団活動を組織しています。

久慈溪流のごみ拾い、キャンプ、慈光寺本堂での合宿、登山等々子どもたちにとつて楽しい活動ばかりです。

八月は夏休みなので、行事も盛り沢山で、お寺での合宿をメインに意欲的に取り組んでいます。

合宿では、お年寄とのふれあい夕食作り、きもだめし、影絵劇、勉強会、そして、朝の本堂掃除・鐘つき・読経等々楽しい企画がいっぱいです。

活動のお世話は、お寺の若大黒さんが

しておりますが、多忙なために、思うに

まかせないのが実情です。

檀家のみなさん、どなたか協力してくださいませんか。地域の将来を担うこの高校生たちのために。

### ヨーガで

#### 心と体の健康を

毎週水曜日の朝九時半から二時間、お寺の茶の間で、ヨーガの体操が繰り広げられます。

「ヨーガ愛好会」のみなさんで、指導者は、池野芳子さん（川貫）。現在、会員は十二名。今のところ女性のみ。

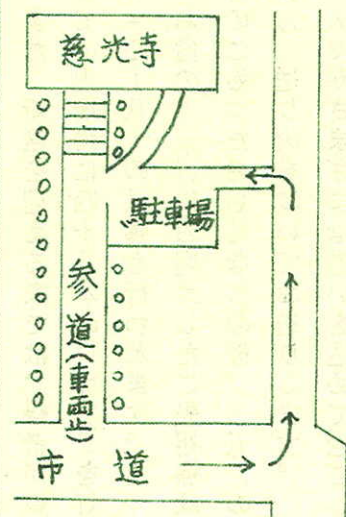
ヨーガということばになじみのない方もいると思いますが、「お経」も「ヨーガ」も仏教の教えが基になっています。

### 杉並木保護のため 参道車輛通行禁止

近年、参道の杉並木が衰弱し始め、中には梢が枯れかかっている木も見受けられます。

そこで、樹木医に現地調査を依頼したところ、その原因は、車道改修により杉の根元が大量の土砂で埋められ、そのために根が窒息状態になっているからとのことでした。

早急に、樹木医の指摘による保護対策を講じたいと思えますが、当面の対策として、参道を「車両通行止」とします。で、ご不便をおかけしますがご協力をお願いいたします。



ゆつくりとした呼吸に合わせて、その人なりに精一杯体を伸ばしたり、縮めたりする体操で、老若男女をとわず誰にでもできます。

体操だけでなく、健康のお話やもの見方、考え方等々幅広く指導していただけます。

関心のある方は、ぜひ一度お出でになってください。